関田・横塚地区、統合、再編方針と今後の進め方について

１．自治会を取り巻く社会環境の変化について

自治会は、一般的に、一定の区域の住民相互の連絡、環境の整備、集会施設の維持管理等により、良好な地域社会の維持のため、地域的な共同活動を行っている団体です。また、町との関係では、地域の意見や要望を集約し、今後の「まちづくり」の指針とすることなど、自治会の担う役割は多岐に渡り、いずれも重要な役割を担っている。

しかしながら、近年、目まぐるしい社会環境や地域住民の志向の変化など（少子高齢化、インターネットの普及による情報化社会の進展、個人情報を始めとした法令遵守の徹底、個人主義（利便性志向）の浸透により地域のつながりを求める人の減少など）、自治会は、様々な問題を抱える状況となっている。

２．統合、再編方針について

関田・横塚地区統合、再編検討委員会において、持続可能な自治会運営を図るため、自治会の現状を把握し、課題の整理、解決のための取り組みの方針（統合、再編方針）をまとめた。要点は以下のとおりである。

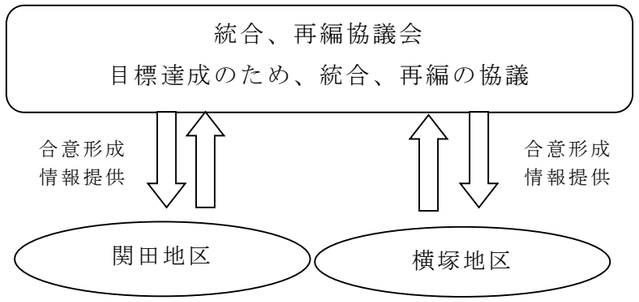
現状	・少子高齢化、ライフスタイルの多様化（多様な働き方、暮らし方、価値観）が進んでいる。 ・自治会員のニーズが多様化する一方で、慣例的な活動が強い。 ・コロナ禍の影響により自治会活動の縮減傾向にある。 →　自治会の弱体化が進行している。
課題	・役員のなり手不足 ・区長の負担増 ・コミュニティの希薄化
今後の取り組み	・なり手不足や区長の負担増 →負担を分担できる組織体制を作る ・ニーズの多様化、コミュニティの希薄化 →自治会員の要望を踏まえて、自治会で優先的に取り組む内容を決めて活動する。 課題解決のためには、組織的な活動を行う必要があり、組織には、一定程度の規模を要する。 このことから、統合と再編による見直しにより、課題解決（改善）を図る。
目標	・持続可能な自治会運営を構築する。 ・区長の負担軽減を図る。

３．統合、再編協議会と協議スケジュール（案）について

統合、再編方針に基づき、具体的な協議を進めることについて、関田、横塚地区の地域住民に対し、賛否をとった結果、両地区とも賛成多数であったことから、今後、統合、再編に向けた具体的な協議を始める。

今後の取り組みを検討するにあたり、協議会の構成員として、令和７年度区長、班長、令和６年度区長（区長が推薦する者（統合、再編検討委員））を構成員とした協議会にて、話し合いを行う。協議会の運営イメージとスケジュール（案）は以下のとおりである。

（協議会の運営のイメージ）



委員だけで判断できない内容については、自治会員が集まるタイミング（美化運動）などに合わせて、意見を伺い、合意形成や協議内容の調整を行う。

（スケジュール（案））協議内容の進捗状況等に応じて、予定は前後する。

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
協議	協議会	●			●		●		●				
	地区			●				●					
協議書作成		→	→	→	→	→	→	→	→	→			
総会											●		
準備												→	→